

「虹のプロジェクト」さいたま市&佐野市コラボ給食が実現！

27日（月）、『常盤中学校』交流事業「虹のプロジェクト」と学校給食週間の一貫として、さいたま市と佐野市の「コラボ給食」を実施しました。これは、さいたま市と佐野市の郷土料理について知ることで、それぞれの地域についての理解を深めることが目的です。さいたま市からは、旧浦和市の特産「うなぎちらし寿司」。今回は浜名湖産のうなぎを豪華に散りばめました。佐野市からは、名物「いもフライ」と佐野常盤中学校のある旧葛生町仙波地区のみに伝わる郷土料理「耳うどん」。「耳うどん」は、佐野市仙波地区で、正月に食べられる「奇習」で、うどんを「悪魔の耳」に見立て、その耳を食べることによって、一年間、悪魔に自分のことを聞かれなくなり、1年間無病息災で過ごせるという風習によるものだそうです。この「耳うどん」を食べられる店は、市内にも数件しかなく、今回はその中の老舗といわれるお店に依頼し、4,000個の「耳」を全て手打ちで作っていただきました。

さいたま市と佐野市の「給食対決」は、生徒たちにも大好評で、残菜率も通常に比べ、大幅に少なかったです。



左下から、旧浦和市のうなぎちらし寿司、佐野市の耳うどん、上中央にいもフライ



珍しい給食に、生徒たちの会話も弾みます！